

昭和十三年一月二十三日 第三種郵便物認可
昭和十六年四月二十五日 印刷 納本
昭和十六年五月一日(毎月一回一日發行)

禁轉載

道路の改良

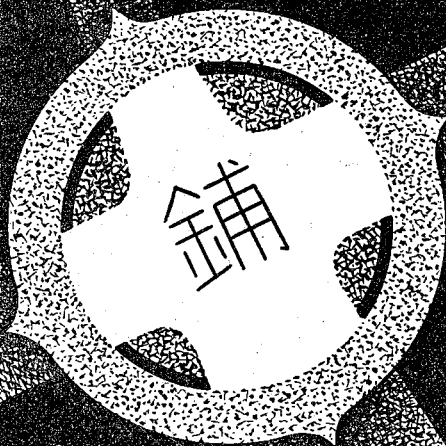
第二十三卷 第五號



道 路 改 良 會

社 法 團 人

鋪裝報國



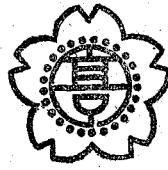
東京・丸ノ内

日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・横濱・名古屋・京都

土木建築
 道路鋪裝
 工事請負



株式會社 高野組

本社

東京市京橋區京橋一ノ二
 電話 京橋(56) 長七八九二五番

大阪出張所

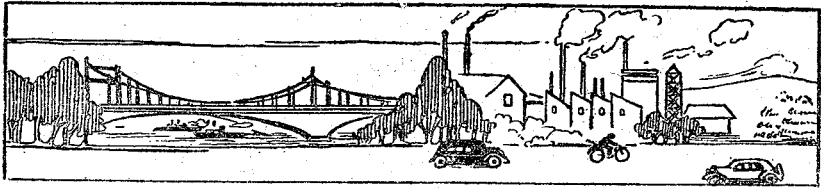
大阪市北區梅ヶ枝町一五七(梅ヶ枝ビル)
 電話 北(36) 一九五六番

福岡出張所

福岡市外箱崎町白濱網屋三二二
 電話 東 三三三四五番

上海出張所

上海吳淞町一八九號
 電話 四三二二一三番



『道路の改良』第二十三卷 第五號 目次 昭和十六年五月一日發行

口 繪 獨逸の道路築造

卷 頭 言

論 說

バス及びトラック交通の發達に就て……………經濟學博士 橋 崎 敏 雄 (三)

研 究

判 例 瞥 見……………內 務 省 田 口 二 郎 (二〇)

資 料

慣性モーメントの圖式計算 (一)……………小野竹之助 (三)

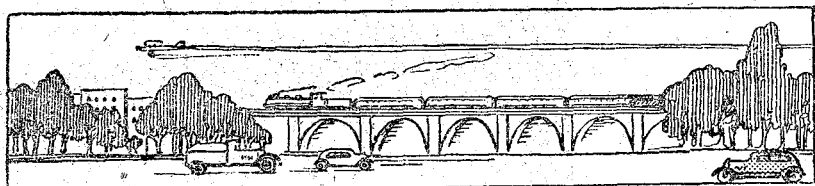
防究橋梁の一資料……………滋賀縣水口
土木出張所長 河 村 協 (四)

說 苑

歴代内務土木局長と其時代 (十五) (三邊長治氏)……………清 水 生 (五)

道路工夫の激勵に就て……………北海道廳道路課 有 岡 富 次 (七)

道路愛護事業と功績者の表彰……………宮城縣土木部道路課 (五)



鳥取縣道路愛護運動の沿革並之が専業の概況……………鳥取縣廳 平野 廣 敬(七)

土木行政叢書自動車論編……………大和田好邦(五)

時局日誌(四十四)……………Y H 生(四)

内務省特報

◎内務省告示◎平沼内務大臣訓示の要旨◎勞務手帳法◎大政翼贊會改組機構表……………(一〇七)

地方通信

北國便り……………其他……………(一二四)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例……………K S 生(二六)

路政春秋

交通地獄は文化的必然性か……………其他……………(三七)

雜報

◎道路功績者の表彰◎理事會開催◎技術者海外派遣に關する建議◎堀内事務官

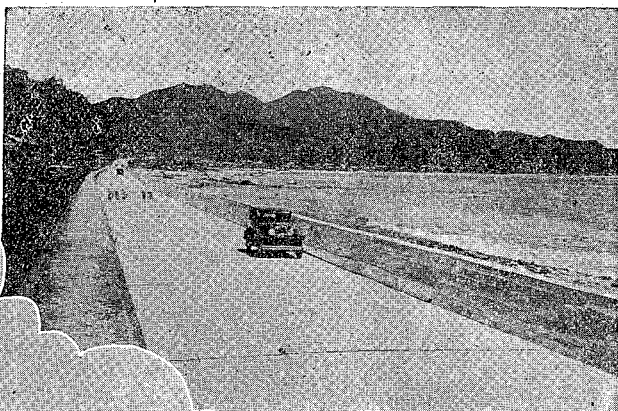
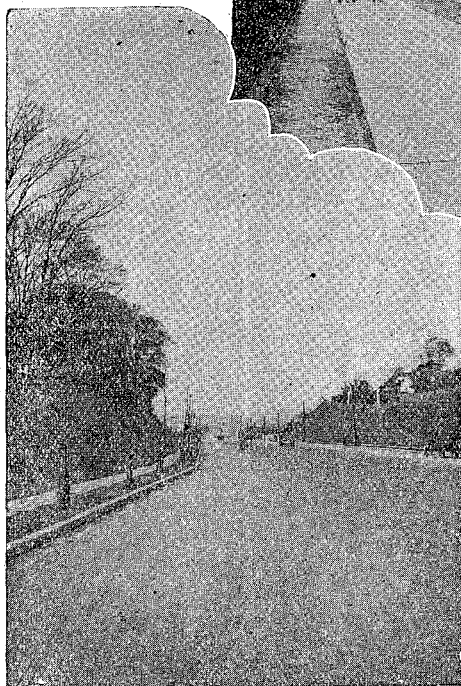
◎道路課長交代◎本會幹事委囑◎理事缺間茂氏◎地方土木主任官事務打合會議

◎内務省土木試驗所談話會◎近刊圖書雜誌……………(三五)

叙任辭令……………(三四)

編輯室の内外……………(三七)

附錄 改正自動車交通事業法及附屬命令 (其ノ三)……………(一七)



早 強
アサノ
ベロセメント
強 度 高 ク
硬 リ 早 ク
使 テ 經 濟

↑ 大宮街道志村附近
浅野セメント使用

— 説明書御申込次第送呈 —

浅野セメント株式會社

東京市 丸ノ内 海上ビル

獨逸の道路築造



ライヒス・オートバーン

フェルザナント・オツペンベルク

○ 長い道が帯のやうに延びるのが見えるか
砂利はこつちだ、アスファルトを敷くのだ
ローラーの鐵の車軸はきしむ
緑の森は道の兩側に立つてゐる

○ 混合機の灰色の車輪は廻轉する
聴け、鶉が森で啼いてゐる
われ等はこゝに止どまれない
道はわれ等を遠くへ引つぱつて行く

○ ローラーは砂利を粉碎した——
輾壓した道の帯はキラキラ映える
われ等は道を追ひ、道に追はれる
村から町へ、海から陸へ道は續く

○ のびた麥の波立つ畑を通りぬけ
森と牧場、沼と畑に沿ひ
谷を越えそびえ立つ弧線橋を渡り
四通八達した道の帯は延び行く

謹 告

謹啓 春曉之候愈々御清穆之段奉慶賀候

陳者アスフアルト乳劑の製造販賣に對し多年各方面より格別の御厚情を辱うし洵に難有御禮申上候

今般時局に鑑み資材統制の必要上商工省御當局の指令に基き全國の瀝青乳劑製造業者を以て日本瀝青乳劑工業組合を
結成致し本年三月二十六日商工大臣の御認可を相受け候

就而組合員一同乍微力益々斯業に精進し以て職域奉公の誠を至す所存に御座候間何卒倍舊の御眷顧御引立を賜り度偏
に奉懇願候

茲に各位多年の御芳志に對し深謝仕ると共に右以紙上組合設立の御披露旁御挨拶申述度如斯御座候

敬具

昭和十六年四月 日

日本瀝青乳劑工業組合

東京市日本橋區江戸橋臺丁目四番地

電話日本橋(24)三七七七番

組 合 員 (順序不同)

- 日本ビチユマルス株式會社
- 日本ソリデチツト株式會社
- 東京瀝材工業株式會社
- 東邦工業合資會社
- 日本道路鋪裝株式會社
- 中島工業所 關根仁平

書修獨の者務實木土

座講木土用實

初級と上級

度程等中

春期新學期開始

新會員大募集

一億一心。實力養成。技術は即ち力である。

世は技術時代。土木は國本的技術として高度國防の基本的一環を成し、特に航空土木及防空土木は國民須知の新技術である。

新東亞建設の第一歩は土木日本の大陸進出に在り。行け！ 土木家は大陸に!!! 國力伸張のため將た東亞興隆のため。

土木を以て立身奉公せんと欲する人のために、島國日本より大陸日本へ進出報國を期する人のために、本講座を捧げる。

▼兩講座共初代内務省土木試驗所長、元東京市土木局長牧彦七博士の綜管下に、内務・鐵道・農林・逓信四省、東大・日大・興亞院・滿洲國政府・東京市役所・北京特別市公署・其他の關係諸先生の執筆に成る時需の最良書である。

▼初級講座には土木製圖・測量學・應用力學・土木材料・施工法・鐵筋コンクリート・河川工學・砂防工學・港灣・道路・橋梁・鐵道工學・發電水力・都市計畫・水道・下水道の外に科外講話あり。一年三ヶ月修了。毎月一册配本。會費金壹圓五拾錢前納。全卷即時配本可能。

▼上級講座には簡易鋪裝・セメント系鋪裝・コンクリート橋梁及溝橋・隧道工學・河港及運河・木工・塹壁工・農業土木・航空土木・防空土木・高速鐵道・軌道及特殊鐵道・土地地質學・土木工事監督・續土木工事監督・土木行政法綱要・應用電氣工學等あり。一年一ヶ月修了。

▼送料每卷市内六錢、地方十四錢、臺・鮮・南洋・滿・支各二十錢各自負擔。全卷即時配本可能。申込期限は來る六月十五日。期限内申込には特典があります。

内容見本無代進呈

東京市世田谷區上馬町一ノ六五九番地

日本土木工學會

振替東京二〇八三四番

昭和十六年

道路の改良

五月一日

第三十二卷
第五號

